




母
穴
奴
隷


10

成人向
R-18
For Adult only







言葉に出来ない
幼い不安を
必死に訴える
小さい手



まだ幼い息子を
残して
逝ってしまった夫



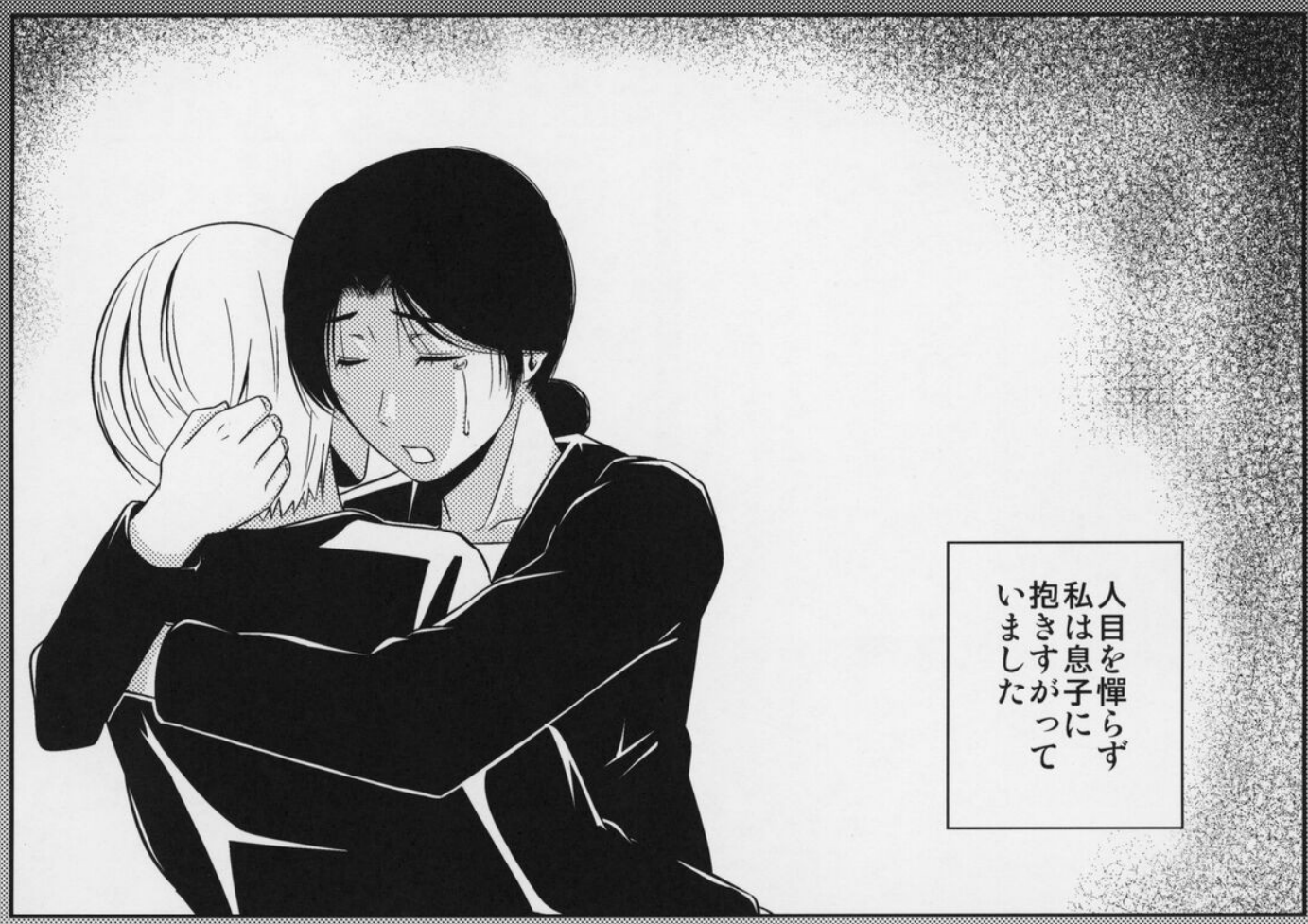
あの日のことは
今でも覚えている



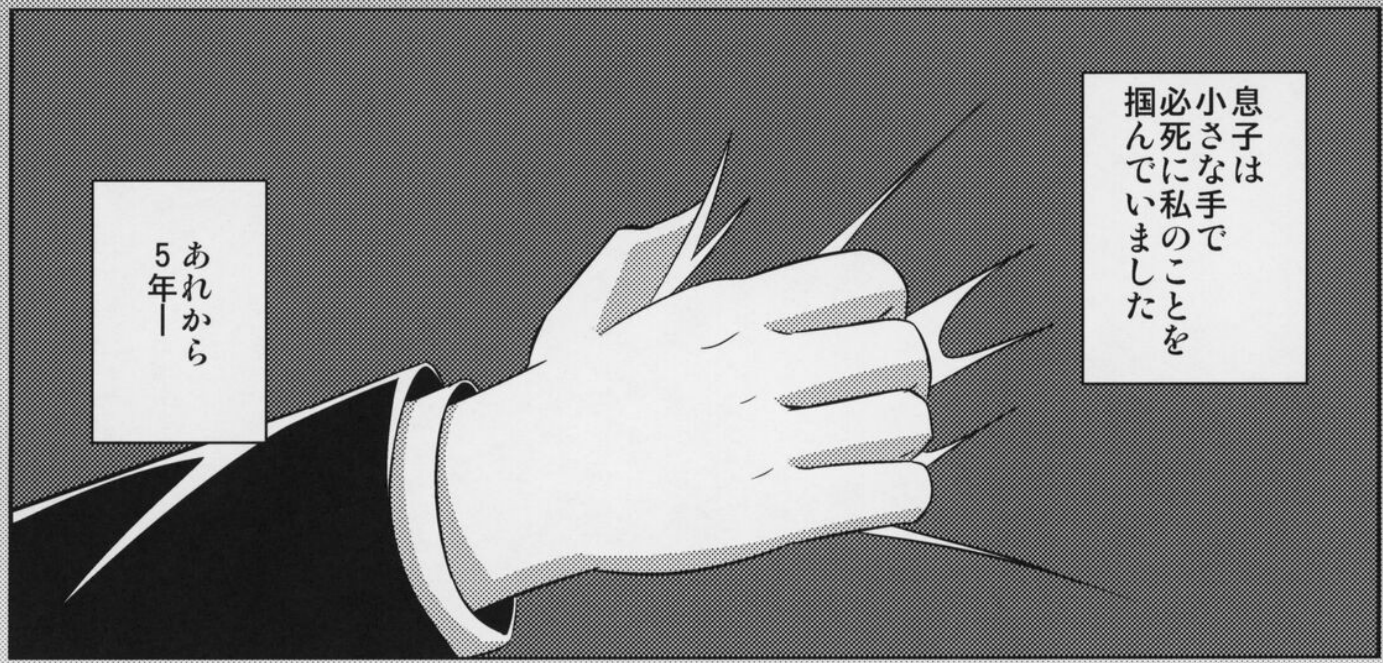
頼る身よりも無く
たつた二人
残されてしまった

気丈に振舞わねば
ならぬと
思えば思うほど

亡くしてしまつた
ものの大きさに
打ちひしがれ



人目を憚らず
私は息子に
抱きすがつて
いました



息子は
小さな手で
必死に私のことを
掴んでいました

あれから
5年――



大事をとって
今日はお休み
しましょう

熱は下がった
みたいだけど…



小さい頃から
病気がちだった
息子



えー
もう
大丈夫だよ

ダメです

風邪は
治りかけが
一番危ない
んだから



何か
食べたい
ものある？

うん

主人の分まで…
そう気負って
育ててきたけれど



おっぱいは
この間
あげたでしょ

ぽん
ぽん

お母さんの
おっぱいの
飲みたいな

えー
今飲みたいの



もう…
しょうがない子ね

主人が
他界した頃から
息子の甘えは
激しくなり

私もそれを
注意
できないまま

たふん♡

未だにこんな
ことを
続けていました

もう…
赤ちゃんじゃ
ないんだから…

だって
お母さんの
おっぱい
おいしいんだもん

ん…
もう…

ちゅぽ

ちゅぽ



ただ舐める
だけに
飽き足らず

まるで
私の悦ぶ
場所を探す
ように

あん♡

性行為のなかつた
性行為のなかつた
私にとつては
その快樂は
抗いがたく



はぁ
はぁ

もに



や...やだ
そんな
舐めないで

授乳という
尊さなかい行為の
最中に

私は乳首への
刺激だけで
達するようにな
ってしまいました



息子はいつからか
そんな私の
反応を楽しむ
ようになり

今では—



私が達して
しまった時は
決まって

ちゅぽ

はあー

はあー



性の処理を
催促するように
なりました

いつもみたいに
してくれる？

ねえ
お母さん
お母さんの声
聞いてたら
また大きく
なっちゃったんだ

すっ...



と...

主人のすら
まともに見
たことが
なかつた
私にとつて
それは

⋮

初めて目にする
屹立した
男性器であり

大きさを
確かめるように

ぎゅう♡

ゼッ

愛しい息子の
成長の証でも
ありました

ドキドキ

う…
動かすわよ

ゆっくりと
上下に扱きあげる

もう…
こういうことは
自分でしなさいって
言ったでしょ

お母さんに
してもらうのが
一番気持ちいい
んだもん

またも…

私の手がこの子を
満たしているという
充足感

しゅん



キス
ちょうだい

ねえ
お母さん



射精が
近い合図

...

キスを
せがむのは

しろ...



唇を重ねる度に
怒張した
生殖器が
更に固さを増す

ちゅっ♡

ちゅ♡

ちゅっ♡

ちゅ

ちゅっ

ちゅ



深く舌を
挿入しあいながら

お互いの唾液を
啜りあう



私の口内の感触を
楽しむように
舌を絡ませてくる

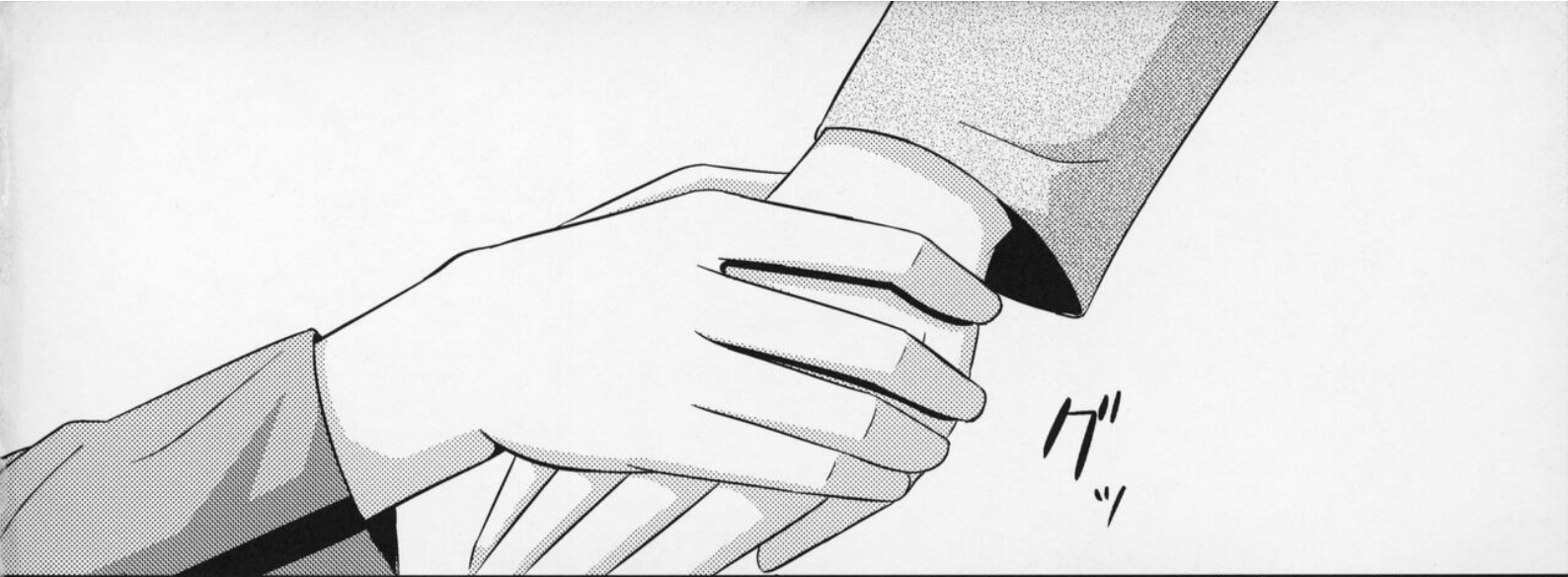


今チイツシユ
取ってくるから

息子の体が
生殖できる
ようになった証



達してなお
吹きあがり
続ける
精液は



はあ

はあ

ティッシュ
じゃなくて
お口で
でしょ？

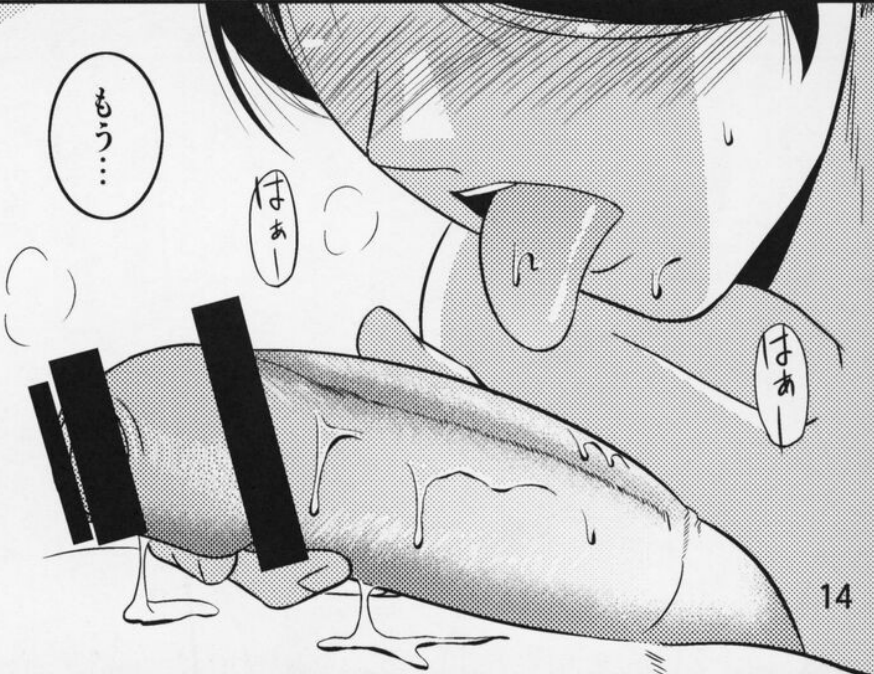
……

断ること
だってできる

でも…
ただの快樂の
残滓にすぎない
それが

私には
たまらなく
愛しく思えて

今では
その懇願を
心待ちにしている
自分がある



もう…

はあ

はあ

一滴も零さぬよう
大事に大事に
舐め取る

愛しい
息子の精子

全部
のもの

ちゅっ♡

抑えきれなく
なりそうなく
感情を

わたしの愛撫で
達してくれた…
私のために…

生殖器への
口づけで
必死に抑える

これは
あくまでも
清めているだけと
自身に
言い聞かせながら

にゅる♡

にゅる♡

お母さんは
いいわよ

学校で友達に
聞いたんだ

...

一番愛してる人には
そういうこと
してあげるって

主人とも
したこと
無かった行為

そ...

息子に
あそこを
口で愛撫
してもらおう

そういう風に
からかうなら
今日はもう
おしまいです

えー
すごい気持ち
いいんだよ

学校と職場に
お休みの電話
入れてくるから
寝てなさい

想像もしないように
努めていたけれど

本当は



ええ
わかりました



…はい
熱がまだ
下がらないので…

心の片隅に
そういう期待は
あつて

でもそんな
ことをしたら

今まで大事に
してきた
何かが崩れて
しまいそうで…



どうされました？

こころちっ
寝てなさい
って言った
でしょ

い...いえ
私も風邪ひいて
しまったみたいで

だって
中途半端で
やめられた
んだもん

ね
お母さんにも
してあげるから♡

ばば...
か...っ





ちよつとよ..
ちよつと舐めたら
それで終わり
だからね

もうっ
こんなこと
するために
お休ましたんじや
ないのよ

うん!

まったく
もう..

わくわく

あんまり
じろじろ
見ないでね..

だいたい
なんで
そんなこと
したいのよ

望まれるままに
息子の前で
服を
脱ぎさつていく

もぞ

もぞ

お母さんだって
僕の舐めて
くれるでしょ？

あ…
あれは…

慶太のことが
大事だからよ

慶太が
気持ちよく
なってくれば
お母さんも
嬉しいし

服を一枚一枚
脱ぎ捨てて
いくたびに



今まで必死に
取り繕っていた
母親の仮面が
剥がされていく
よう

な...
なんで
慶太でも
脱いでるのよ

こっただけ
着てるの
恥ずかしい
でしょ

もし素の自分が
拒絶されて
しまったら—



こんな
おぼさんの
体見たら
イヤになっちゃう
でしょ？
だから…



僕だって
お母さんのこと
大好きだから
お母さんにも
気持ちよくなっ
てもらいたんだ



イヤになんか
ならないよ

たった一言で

もう…

主人を亡くして
からの何年もが
報われた気がした

そんなの…
母親に言う
言葉じゃない
でしょ

ほら
足開いて

うん…

うわあ
お母さんのここ
もじやもじやだ

お…大人
なんだから
当たり前でしょ

恥ずかしいから
あまり
見ないで…

ううん
かわいいよ

や…やだ
急に…



愛する息子が
自分の性器を
舌で愛撫している



その倒錯と
背徳感

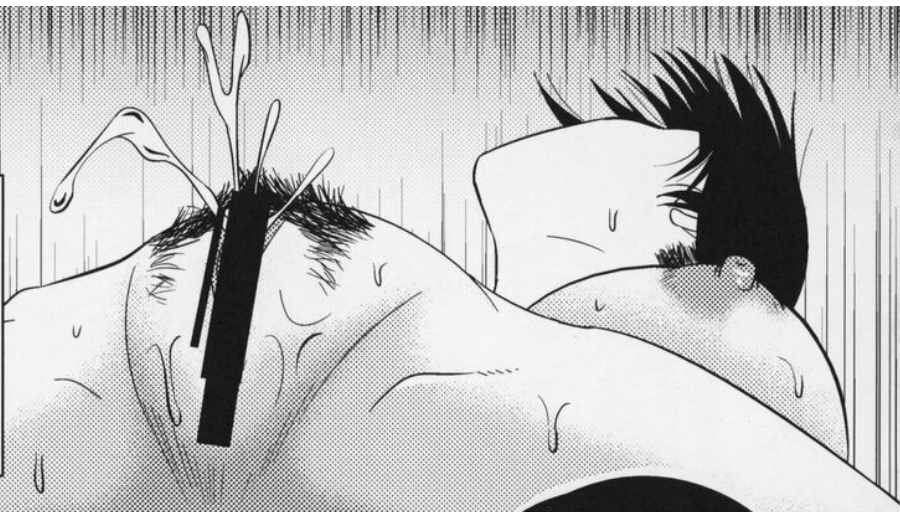
乳首を舐めら
れるのとは
比較にならない
快感



幾重にも
押し寄せてくる
快樂に



私はあつげなく
押し上げられて
しまった



一瞬間が
起こったのか
分からなかった

下半身から
ゆっくりと
昇ってくる
多幸感



全身の
穴という穴が
弛緩する感覚と
それに伴う
充足感

人生で
初めて味わう
絶頂の本当の

私はイカされ
たのだ

私を一番
愛してくれる人に



だ…
大丈夫？

きつと…

キラ

ピクッ



…大丈夫だよ

慶太が舐めるの
上手だから
大きな声
でちやつた

さわ、

ねえ…

お母さんと
一緒に

はあー

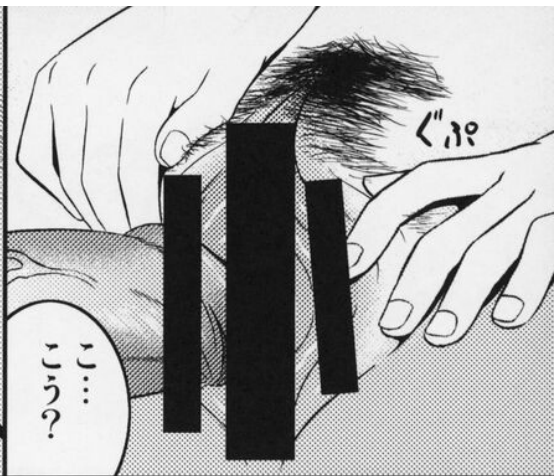
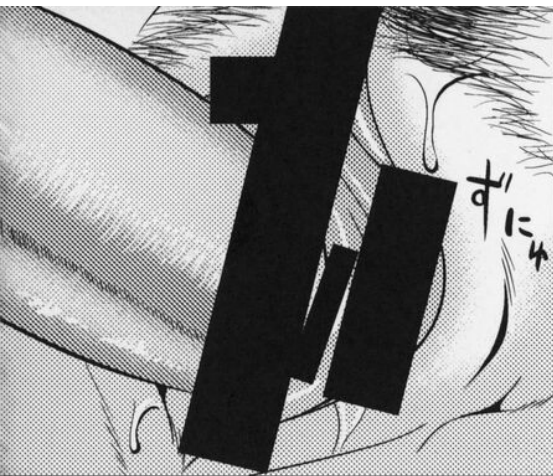
はあー

もっと
気持ちいいこと
しようか

お互いの気持ち
を確認しあつて
しまつたら

私は母親の顔を
忘れて
貪欲にこの子を
貪つてしまう

そういう危惧が
ずつと心に
引つかかつて
いたんだと思う



はまー

うん
そのまま
まっすぐ…

はまー

こ…
こう？

ぐん



んっ♡

ずんやう



う…うん

は…は…
挿入ったね
分かる？

この子の
想いが
伝わってくる



徐々に膣で感じる
性器の感触

ガッ

手や口で
感じるよりも
もっとはつきり

ゴッ♡

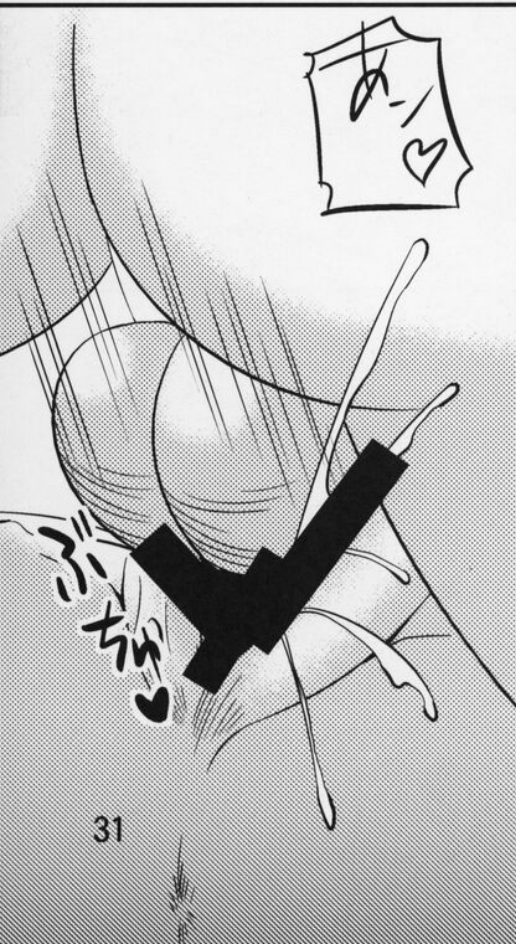


慶太の
気持ちいいように
動いて
いいんだよ

まるで

お母さんが
支えてて
あげるから

歩き始めた
子供を
導くように



そのまま
また入れて...

自らの膣を
用いた
性指導





もう迷い
なんかない



お母さん
僕もう出ちゃうよ

早く抜かないと…



我慢しないで
一番
気持ちいい
ときに
出さない

お母さんが
全部受け止めて
あげるからね



うん♡
慶太のお汁で
お母さんの中
いっぱいにして♡

うん!
このまま
射精すよ!

ほ…
本当にいいの?

愛おしい



腔中に♡
射精してる♡



躊躇無く
母の腔奥に
射精する

それが息子の
愛の形なのだと
思うと
嬉しかった

びゅるっ
びゅるる



ぎゅ♡

抜かないで...♡

うん♡

しゅっ

しゅっ

射精が止んでも
お互いがお互いを
離すこよはなかつた

繋がったまま
何度もキスを
繰り返して
また固さを
取り戻した
性交尾をする

ちゅ♡



慶太の形に
なってるね♡

今まで互いに
押し殺してきた
情欲を
埋め合わせる
ように

ゴロ...

ゴポ

「ちよつと」の
約束が
気付けば
日を跨いでいた

もぞ

慶太
こつちへ
いらつしやい

?

汗びっしよりだね
お母さんのために
頑張ってくれて
ありがとう

まだ子供だと
思っていたのに
あの頃よりも
ずつと遅しく
なった背中

お母さん
とつても
気持ちよかったよ

僕の方
こそ…

三人だけの家

邪魔する人も
咎める人も
いない

今日も
休んでいい？

だめよ
ちゃんと
学校行かないと

ちゅわ

帰ってきたら
またいっばい
しましゅう

うん

♡

何も不安に
思ふことなど
ない

あの頃
震えていた手が
今は私を
しっかりと支えて
くれているから

あとかき

お久しぶりです
ナリヲです

学生時代から付き合いしてきた病が
この歳になってぶり返し
半年ほど病院のやっかいになっておりました

2年ぶりの実母物、準備号のときは
この先を描くつもりだったのですが
描きたいことが多すぎて
そこまで辿りつけず…

全然いちゃいちゃしたのが描けなかったので
近いうちにこの続きか
あるいはまた別のお話かもしれませんが
そういったものが描ければなと思います

それではまたどこかでお会いしましょう

奥付

誌名:母穴を掘る10

発行元:天愚連

発行人:ナリヲ

初版 :2012年8月12日

第三版:2013年5月19日

印刷:ねこのしっぽ様

連絡先:<http://curtana.blog75.fc2.com/>

※未成年者の閲覧を禁止します。





天鬼連